

食育情報番組「なちゅらるさいきっちゃん」

事業実施主体：佐伯市（大分県）

- 佐伯市は大分県の南東部に位置し、九州一広大な面積を有するまちである。令和2年3月には、市民主体となって持続可能なまちづくりに努めることを謳った「さいきオーガニック憲章」を制定。将来にわたり豊かな自然環境を守り、次の世代にとって住み続けられるまちをつくるため、「さいきオーガニックシティ」の実現を目指す。
- 佐伯市では、恵まれた自然環境が育む「食」を切り口としたまちづくりに取り組んでおり、市民団体等による食育活動も活発に行われてきた。今回、「オーガニック」をテーマとした全7回の食育情報番組「なちゅらるさいきっちゃん」を制作。ケーブルテレビの行政チャンネルでの放送やSNS等を活用した啓発を実施し、市民へ「環境に配慮した」食への理解向上の取組を実施した。

大分県



【取組の内容】

- 食育情報番組「なちゅらるさいきっちゃん」制作
生産者や料理人等が取り組むオーガニックやSDGsについて取材した。取り組み始めたきっかけや「あなたにとってのオーガニックとは？」をたずねるインタビューパートと家庭でも実践しやすいオーガニック食材を取り入れたレシピを紹介する料理パートの2部構成を基本とし、放送終了後もYouTubeにより繰り返し視聴可能とした。

<https://www.youtube.com/@saikibrand>



【取組の成果】

- 番組を見た視聴者からは
 - ・身近なもので簡単に作れるレシピは家庭でも取り入れやすいのでとても嬉しい。
 - ・佐伯の食材を使ったりして子ども達にも安心安全なものを食べさせたいと思った。
 - ・佐伯市にオーガニック野菜作りが広がってくれればいいし、利用したい。
 等の意見が寄せられ、意識の広がりにつながっている。
一方で、「オーガニック」に対し意識の高い人が取り組むものと難しく感じたり、興味のない市民に対して、日常にあるオーガニックやSDGsに気づききっかけとなるような取組を継続して実施する必要がある。

【事業の目標】

- 環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組
実績 50.0%
- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
実績 76.3%